

水の館プラネタリウム

テーマ番組「50年前の星空～我孫子市制施行50周年～」

上映期間：7月18日(土)～10月11日(日)まで

2020年7月1日、我孫子市は市制施行50周年をむかえています。我孫子市の50年の歩み、そしてその時々天文現象などを軽妙なタッチで紹介します。

(左)ハレー彗星 (右)手賀沼花火大会

星空解説「今夜、なにがみえるかな」2020夏

上映期間：7月18日(土)～10月11日(日)まで

夏の三大角や天の川、夜更けには東の空に昇ってくる秋の四辺形。有名なさそり座や、いか座やこぎつね座など、普段あまり名前を聞かない可愛いらしい星座も紹介していきます。

上映時刻	10時	11時	13時	14時	15時	16時
テーマ番組	○		○		○★	
星空解説		○		○★		○

・土日祝日の上映時刻は上記のとおり。テーマ番組、星空解説ともに約20分間。
・夏休み期間中(8/3(月)～8/20(木))は平日も1日2回★の時間に上映します。
・平日の団体上映は夏休み期間中に限り午前中のみ受付。

(2日前迄に要予約。ただし、年末年始を除く)
定員：各回先着25名(上映1時間前から発券。席の間隔を空けてご案内します)
費用：高校生以上100円(中学生以下無料)

※新型コロナウイルス感染対策として定員50人を25人に減じています。また、マスクの着用・手指の消毒・連絡先の記入などにご協力をいただいております。

イベント

8/1(土)

プラネタリウム星空コンサート 「1970年代、あの頃のうた～我孫子市制施行50周年～」

50年前のなつかしの名曲を聴きながら、星空と手賀沼花火大会の映像を楽しむことができます。あの頃に想いを馳せながら、夏のひと時をお過ごしください。

日時：8月1日(土) ①11時～ ②13時～

※上映1時間前から発券開始

定員：先着25名(小学生以下保護者同伴)

費用：300円

※当日、定時上映は15時と16時のみ行います。

8/8(土)

星空たんけん観望会 「木星・土星と夏の賑やかな星空を見よう!～電視観望で、今までに見たことのない夏の天体を見よう～」

星空の見方を学ぶ講座と星空観望会です。

※雨天・曇天の場合、星空観望会は中止。

プラネタリウムで番組を鑑賞します。

開演日時：8月8日(土) 19時～20時30分

(18時45分受付開始)

定員：先着25名 ※小学生以下は保護者同伴

費用：100円(中学生以下は無料)

持物：懐中電灯(赤色灯推奨)

申込：8月7日(金)までに水の館(7184-0555)

～水の館プラネタリウムの番組と、この夏、我孫子で見られる星座の情報誌～



プラネタリウム、上記イベントのお問い合わせ：手賀沼親水広場 水の館 TEL:04-7184-0555 FAX:04-7185-5869

手賀沼周辺イベント情報

環境レンジャーネイチャーイン

「谷津ミュージアムでホタル鑑賞会～夏の夜の観望会～」

日時：8月1日(土) 19時00分～20時30分※雨天中止

集合：東我孫子駅南側広場(受付18時30分～)※車でのご来場不可

持物：マスク・手袋・長袖長ズボン・汚れてもいい靴

定員：先着40名 費用：50円(保険料)

申込：7月29日(水)までに手賀沼課(7185-1484)

☆夏休みの環境学習!

◆船から見る手賀沼のふしぎ(船上学習)

日時：8月11日(火)9時15分～10時30分

集合：ポートセンター小池前 費用：無料

対象：小学生(3年生以下保護者同伴)30名(1組3人まで)

持物：マスク・手袋・筆記用具・帽子※・飲み物※

申込：7月16日～8月4日まで ※雨天・強風中止

◆プランクトンをつかまえて顕微鏡で観察しよう!

日時：8月8日(土)12時30分～16時30分

場所：水の館3階研修室 費用：50円(保険料)

対象：小学生(3年生以下保護者同伴)

先着申込21人(1組3人まで)

持物：筆記用具・持ち帰り用の袋(ビニール袋)・タオル・

帽子※・飲み物※

複数の講座を希望される場合は、お問い合わせください。 ☆申込・問合せ：手賀沼課(7185-1484)

クリーン手賀沼推進協議会

「遊覧船で手賀沼について学ぼう!」

日時：①8月7日(金)10時30分～/13時30分～

②8月18日(火)10時30分～/13時30分～

※雨天・強風中止。受付は各回15分前～

集合：手賀沼公園内「ポートセンター小池」前

定員：①②ともに各回先着30名(1組3人まで) 費用：無料

申込：①は7月16日～8月5日までに

②は8月3日～14日までに水の館(7184-0555)

◆紙粘土で花瓶等を作ろう!～廃棄物利用で鳥や花を飾って～

日時：8月6日(木)・13日(木)9時30分～11時30分(全2回)

場所：アビスタ工芸工作室 費用：無料

対象：小学生(3年生以下保護者同伴)先着申込15人(1組3人まで)

持物：マスク・エプロン・タオル・粘土用へら(お持ちの方)

2回目に持ち帰り用の箱(段ボールなど)

申込：7月16日～30日まで

◆カヌー体験in手賀沼!

日時：8月16日(日)①10時～②11時～③13時～④14時～

場所：手賀沼親水広場(集合場所：水の館3階)

対象：小学4年生以上、各回1人乗り3名・2人乗り3組(家族での同乗のみ)

持物：マスク・水にぬれてもよい服・タオル・着替え・帽子※・飲み物※

費用：100円(保険料) 申込：7月16日～8月11日まで

※屋外イベントに参加される場合は熱中症対策をお願いします。



我孫子市マスコットキャラクター
手賀沼のうなぎさん

人工衛星を宇宙に届ける
「H-IIA ロケット打ち上げ」の写真うな～!

本誌掲載の情報は、2020年6月19日現在のものです。今後、新型コロナ感染症等の影響などにより開催時期の変更、もしくは中止される場合があります。開催情報は、我孫子市ホームページでご確認ください。

発行：我孫子市 環境経済部 手賀沼課 〒270-1146千葉県我孫子市高野山新田193 TEL:04-7185-1484 FAX:04-7185-5869

星座紹介コーナー ～ この星座、知ってる？ ～

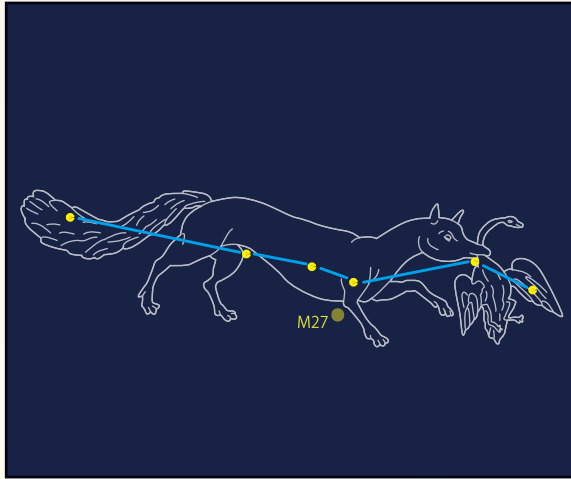
雄大な星座の多い夏の夜空ですが、かわいらしい星座も見つけることができます。



★夏の大三角★

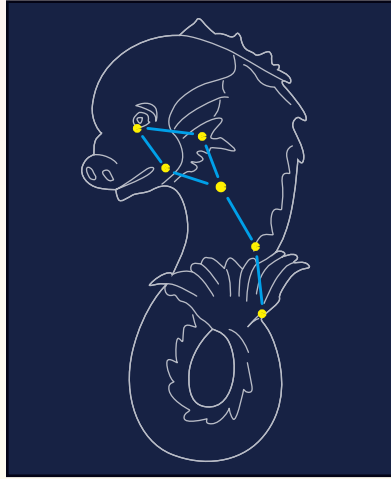
天の川を挟んで、七夕で有名な織り姫星であるベガと彦星であるアルタイル。そしてはくちょう座のデネブで作られる大きな三角形です。夏の夜空の目印です。（右図をご覧ください）

★こぎつね座★



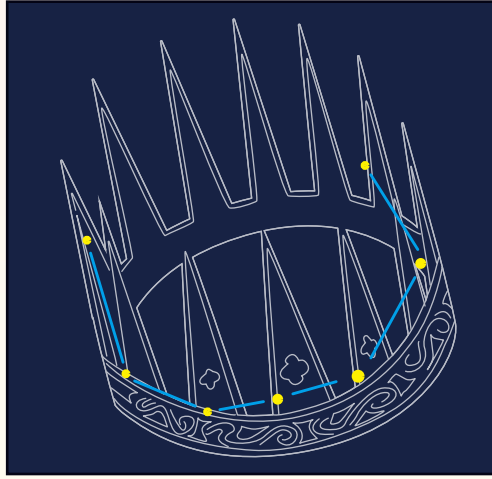
星座絵でくわえているのがちょう。17世紀につくられた星座で、夏の大三角の真ん中にありますが、暗い星が多くあまり目立ちません。皿鈴状(あれいじょう)星雲と呼ばれる特徴的な星雲、M27があることで知られています。M27は、全天で最も美しいと言われている惑星状星雲です。少し大きめの双眼鏡でもその姿を確認できます。

★いるか座★



いるか座は夏の三大角の一角、アルタイルのそばにあります。ギリシャ神話では神を助けたり、音楽家を助けたりといくつかのお話が伝わりますが、それぞれとても賢いいるかとして語られています。

★かんむり座★



一度見つけられるとまた探したくなる、美しい星の並びです。半円形に輝く星々をたいこになぞらえて「カミナリさんのたいこ星」という和名もあります。雷の多いこの季節。雷雲の去った後に見える星々にカミナリの名残を感じたのかも知れません。西洋では王妃のかんむり、または首飾りなどとしても語られています。

2020年夏の天文イベント ～星空を見上げてみよう～

日付	天文現象	説明
7月21日	惑星勢揃い	7月21日前後、明け方の空に惑星が勢揃いします。水星・金星は東の空に、海王星・天王星・火星は天頂近くに、そして西の空に木星と土星を見ることができます。海王星・天王星は暗いため望遠鏡を使わないと見ることはできませんが、非常に珍しい現象です。
8月12日	ペルセウス座流星群	三大流星群のひとつで、8月11日から13日にかけて見ることができます。今年は下弦の月があり、若干条件は良くありませんが、ゆったりと空を眺めているといくつもの流れ星を見ることができるでしょう。
9月	火星	惑星は地球に近づいたり離れたりと、太陽との角度を変えたりと刻々と位置関係を変えています。その為、明るさも大きく変化していきます。数ヶ月にわたり観察しやすかった火星ですが、9月にはどんどん明るさを増していきます。惑星の明るさの変化を感じてみましょう。
9月末～10月	ミラの極大	恒星の中でも明るさが変化する星があります。これらの星を変光星とよびますが、くじら座にあるミラはその代表的なものです。約332日で明るさを変化させ、その幅は2等星から10等星と大きな開きがあります。ちょうど明るくなるのが9月末から10月初め頃と予想されています。明るい時に星の場所を覚えておくと暗くなっていく変化を感じられます。

星空ギャラリー（水の館3F）

我孫子市市制施行50周年にちなみ日本の宇宙開発技術50年の歩みを紹介します。

最初の人工衛星「おおすみ」から「小惑星探査機はやぶさ」。宇宙ステーションに物資を補給する「こうのとりのゆりかご」など、50年間で培われていった日本と宇宙との関わりを説明します。

「気象観測衛星ひまわり」©JAXA▶



星座紹介コーナーの星座は✳マークが付いています。

天文ニュース ～日本初の人工衛星から50年～

2020年は我孫子市が市になってから50年になります。そして日本が初めての人工衛星を打ち上げてからもうちょうど50年。

人工衛星を打ち上げたのは、ソ連、米国、フランスに次い世界で4番目の快挙でした。その後発展を続ける宇宙開発技術は、気象衛星「ひまわり」や測地衛星「みちびき」^{*}などで今の私たちの生活を支えています。また「小惑星探査機はやぶさ」や月を詳しく観測した「かぐや」など大きな科学的成果をあげる衛星なども生み出してきました。

※GPSの精度を高めるための測位ができる準天頂衛星



人工衛星「おおすみ」©JAXA

星空ミニクイズ

～日本最初の人工衛星の名前の由来は何でしょう？～

①開発した人の名前 ②打ち上げた場所の地名 ③英語の「Observation of space mission」O.O.S.Mの略語

さて答えは?水の館3階のプラネタリウム横のスタンプコーナーで説明しています。

2020年度夏のスタンプ

スタンプをおしてみよう！
※スタンプはプラネタリウムの横にあるよ！